

社団法人 日本ボディビル連盟
平成19年度 第2回 総会 議事録 (抜粋)

日 時 平成20年3月2(日) 午後2時開会
場 所 東京・お茶の水 ホテル聚楽
会長挨拶

競技スポーツとしてはJOCに加盟しているオリンピック種目の競技団体と肩を並べてアジア競技大会へも2回出場しております。大事なことは、ここまで普及してきた筋力トレーニングが我が方だけでなくフィットネスクラブでもウェイトトレーニング機器が置いてあります。行政の施設でも学校にも備え付けられています。それから各競技団体でもウェイトトレーニングは常識になっていますが、我がボディビル連盟が主体性を発揮して果たす役割は3つの方向があります。

まず、競技スポーツとして金メダル銀メダル、銅メダルを多く取ってボディビルの素晴らしさというものをスポーツ競技として国民に知らしめ、国民に夢と活力を与えていく競技スポーツとして広めることです。それから具体的方法として、生涯スポーツとしての総本山は日本体育協会ですから今年は何とかなして加盟を実現して生涯スポーツにボディビルはなくてはならないものだということ方向にもっていきます。それから3つ目は、健康づくり、厚生労働省が一番力を入れているのは医療改革という問題です。というのは医療費がどんどん加算して国の財政を圧迫しています。国の予算が約80兆円に対して医療関係が約30兆円で、このままいくと国の財政は破綻すると言われていいます。その一番の原因は高齢者医療費、寝たきりになったら莫大な費用がかかり、それを抑える為に治療よりも予防だと言うことがさかんに言い出されています。

今皆さんご存知のようにメタボリックシンドロームの評価をするのに腹囲、血圧、血糖値などの方法があるでしょう。このメタボリックシンドロームの対応として運動と言うことを真先に言うようになってきています。

厚生労働省では健康づくりのキャンペーンの「標語」は一に運動、二に食事、しっかり禁煙、最後に薬と言ってあります。それで今度厚生労働省は健康日本21推進国民会議には、医師会をはじめ日本体育協会も日本オリンピック委員会など約130団体が入っており、我が連盟も加盟が承認されました。

競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに力を入れていきたいと思っておりますので皆様のご協力をお願い致します。

議長選出 定款第22条により、議長は玉利齊会長を選出。

定足数の確認 正会員総数59名。本日出席正会員24名、委任状による出席正会員32名、合計出席正会員56名により正会員総数の過半数を上回り、定款第24条に基づき総会は成立。

【第一号議案】平成19年度後期事業報告

1. 国内事業

- (1) 2007年第53回男子日本ボディビル選手権大会
2007年第25回女子日本ボディビル選手権大会
開催日:平成19年10月8日(月祝)
会場:東京 日本青年館 大ホール 出場選手数:73名
- (2) JOC ジュニアオリンピックカップ
2007年第19回日本ジュニアボディビル選手権大会
2007年第2回全国高等学校ボディビル選手権大会
開催日:平成19年10月8日(月祝)
会場:東京 日本青年館 大ホール 出場選手数:25名

- (3) 2007 年第 19 回日本マスターズボディビル選手権大会
開催日:平成 19 年 9 月 23 日(日)
会 場:東京都 江戸川区総合区民ホール(タワーホール船堀)
- (4) 第 29 回ユニセフハンド・イン・ハンド「子どもの未来は、栄養が握っている」
2007 年 12 月 23 日(日)12:50～14:30
恵比寿ガーデンプレイスにて
ボディビルゲスト出演 合戸孝二選手
連盟関係者のボランティアにて会場警備並びに募金活動、連盟宛に感謝状が贈呈された。
- (5) 平成 19 年度 JBBF 公認指導員認定講習会
平成 20 年 2 月 9 日～11 日実施
福岡県 北九州国際会議場
受講申込者 61 名(1級 12 名、2級 36 名、補講 12 名、聴講 1 名)

2. 国際事業

(1) IFBB 総会の報告

IFBBの総会は男子世界選手権大会の開催中に行われました。決定事項は、ボディビルはただ単にマッスルビルディング(筋肉の巨大さだけを追求する)スポーツと言うイメージが強いが、それだけではなく健康を目指すライフスタイルを推進するスポーツであることを今後強く打ち出して行く。日本だけでなく、世界も健康づくりということが大きく問題となってきた。それにボディビルというものが貢献していこうと言う姿勢です。

したがってIFBBの名称にもインターナショナルボディビルダーズ&フィットネスフェデレーションというようにフィットネスという言葉が入りました。健康づくりを重視していく団体に変貌していこうということをサントン八新会長が強調しています。その一環として女子のボディビルはマッスルビルディングがとかく広がっていかない。筋肉を追求するだけでなく、そこでフィットネス、ボディフィットネスと言う競技をもっと普及するように努力していこうと言うことが強調されました。

今日、スポーツ競技会全般でアンチドーピングが強調されてきました。ボディビルもアマチュア競技に徹してIFBBはアンチドーピングを徹底していかなければオリンピック競技種目に入ることが出来ない。その為プロ部門を切り離してプロとは別の団体として対応しております。教育プログラムも充実していくことと、ウズベキスタンの新加盟が玉利齊会長より報告された。

- (2) 2007 年第 61 回世界男子ボディビル選手権大会
開催日:2007 年 10 月 24 日～29 日 会場:韓国 濟州市
参加国数: 56 カ国 出場選手数: 171 名
- (3) 2007 年第 27 回世界マスターズボディビル選手権大会
開催日 2007 年 11 月 29 日～12 月 3 日 会場:ハンガリー プダペスト
参加国数: 42 カ国 出場選手数: 249 名

【第二号議案】平成 20 年度事業計画及び収支予算案について
別紙事業計画書及び収支予算のとおり承認

【第三号議案】新規加盟クラブ及び退会クラブについて

1. 新規加盟クラブ(7+1)

PUMPボディビル同好会(準加盟)	愛知県連盟	代表者:伊藤英司
トレーニングジム Muscle & Beauty(正加盟)	大阪連盟	代表者:寺田賀一郎
スポーツクラブ トライ(準加盟)	大阪連盟	代表者:中川隆
THE GYM(準加盟)	千葉県連盟	代表者:鶴屋浩
中京女子大学ボディビル同好会(準加盟)	愛知県連盟	代表者:坂本涼子
パワーハウス・ウェイトトレーニングクラブ(正加盟)	東京連盟	代表者:吉田進
生活習慣病管理センター「パワーハウス赤穂」(正加盟)	兵庫県連盟	代表者:古城資久
Body Training FREEDOM(準加盟)	和歌山県連盟	代表者:山路康祐

以上、からの新規加盟クラブが承認された。なおのBody Training FREEDOMの申請についてはあく迄暫定的措置として以下のような対応をとる。

クラブ加盟については窓口である和歌山県ボディビル連盟が県連盟としての最低限の義務を果たせず機能していない状態と判断して、今後の在り方を当連盟関西ブロックで検討する。

しかし、該当クラブ所属選手は善意の第三者の立場であるので、当面関西ブロック代表理事である兵庫県連盟が窓口となって日本連盟に登録を申請し日本連盟はこれを承認する。

但し、和歌山県連盟が正常化した場合は和歌山県連盟経由で当連盟に申請する。

2. 退会クラブ

トレーニングプラザ ウイングス	島根県連盟	高野隆代表	閉鎖
ビッグツリースポーツクラブ	栃木県連盟	鈴木信哉代表	退会
東金アリーナボディビルクラブ	社会人連盟	小林幸治代表	退会
トレーニングジムヘリオス	岡山県連盟	亀山芳信代表	閉鎖

以上、退会クラブが承認され第三号議案は承認された。

【その他】運営に必要な事項の報告

1. ドーピングテスト陽性となった小林広一選手の所属クラブ「ビッグベアージム」のペナルティについては青田アンチドーピング委員会事務局長が状況を確認して執行部に報告し、その対応は執行部に一任された。
2. 茨城県ボディビル連盟理事長の磯野武夫氏を正会員として認めることが全会一致で承認された。
3. ミスフィットネス、ミスボディフィットネス選手の個人登録金額については、執行部に一任され、6月の理事会までに決定することが全会一致で承認された。
4. 健康日本21正式加盟報告
平成19年11月19日に健康日本21推進全国連絡協議会に加盟が承認されたことが報告された。今後、地域での筋力トレーニング指導講習会など健康日本21冠事業を開催することができる。
健康日本21は厚生労働省の管轄で21世紀に対する国民健康づくり運動の略です。ボディビル連盟としては高齢者の運動分野に対し指導を的確にする意味でも、健康スポーツとしての実績と活動が必要となることが報告された。
5. 日本連盟監修「正しいトレーニングDVD」の作成について
正しい指導及び指導者講習会では実技講習を取り入れる必要があること。また多くの施設で適切でない指導が行われていることが中尾常務より説明があり、「正しいトレーニングDVD」の制作をすることが報告された。なお、制作スポンサーを探し協力を要請することも報告された。
6. マッスルメディアジャパンよりビデオ企画申請が今年もあったので継続して制作すること報告された。

7. 学連OB組織の進捗について
学連はボディビルとパワーリフティングが一緒に行われている。学連総会が3月末に実施されるのでその後に継続して対応することが報告された。
8. ドーピングテストの19年度結果について説明があり、内容についてはJBFFホームページに掲載されていることが報告された。
9. 20年度日本選手権・高校・ジュニア・日韓中親善大会が大阪連盟協力のもと10月13日(月祝)にエルおおさかで開催されることが報告された。なお、会場の都合により日韓中親善大会には国際規程に準じカラークリームを使用するが、他の同時開催大会ではカラークリームの使用を禁止することが報告された。
10. 審査員・指導員・選手・クラブ登録の近年推移説明があり、内容についてはJBFFホームページに掲載することが報告された。
11. 公式トランクスを製造販売するTHINKフィットネスと覚書が締結され、平成20年度より主催大会での着用が義務付けられることが報告された。ただし、県大会での着用は県連盟に一任される。また、女子については保留となり対応については執行部に一任されたことが報告された。
12. 国際大会では15名以上出場の場合予備審査で15名を選び、予選審査で1~15位の順位付けを行うがあくまで決勝進出するためのものであり、選ばれた6名の予選審査での順位付けは白紙に戻して再度審査される。日本連盟の主催大会にも日本クラス別大会からIFBBに準じて国際方式で審査を行うことが報告され、JBFF主催大会の審査プログラムが変更され、新しい審査プログラムを平成20年度より実施されることが中尾常務より報告された。
13. 国際大会派遣の際、選手団とサポーターは行動を別にすることが確認された。
14. 國井裕平選手(宮城県)は高校選手権で2006年、2007年の2回優勝し、2007年JOCジュニアオリンピックカップにも優勝した。國井選手の要請により、玉利齊会長が仙台大学へ推薦をし、入学が決定した。また、鈴木健太選手(宮城県)にも日本競輪学校宛にボディビル大会の成績証明書を発行をしたことが報告された。
15. 2007年の国際・アジア大会でのジャッジテストの合格者が報告された。

世界マスターズ選手権大会時受験	鳥谷部 篤	国際審査員合格
東アジア選手権大会時受験	後藤 剛	アジア審査員合格
東アジア選手権大会時受験	浅見 由理香	アジア審査員合格
16. 国内ジャッジテストの結果が中尾審査委員長より報告された。

1級	16名受験	3名合格
2級	26名受験	10名合格
3級	23名受験	19名合格
17. 県連盟活動の促進について県大会が開催されていない場合には県の選手をブロックの大会へ出場させること、又公認クラブの少ない県連は、公認クラブを増やし、ボディビル選手層を拡大するように玉利齊会長より提言された。
18. 望月選手より特別認定選手の要請があり、大会成績が日本選手権フィットネス部門で3回1位の実績があり問題がないため全会一致で承認された。

19. プロビルダー山岸選手が昨年 12 月に米国にて大量の薬物所持で逮捕されたことが新聞等マスコミで報じられたが、JBBFはプロ申請時に脱退しておりJBBFとは一切関係ないことがホームページに掲載されている。

20. 日本女子新人ボディビル選手権大会

日本女子チャレンジカップボディビル選手権大会ではどうか、主管団体である社会人連盟より提案されたが、執行部に一任され 6 月理事会で報告することが承認された。

以上で総会は閉会した。